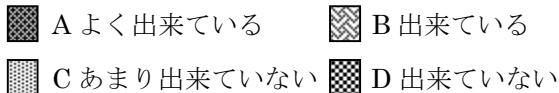
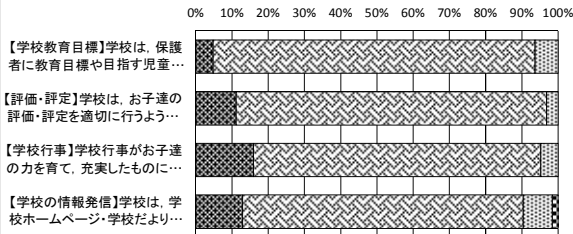


保護者アンケート の結果と考察

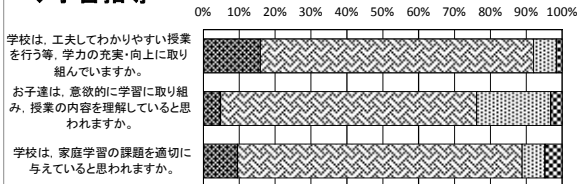


◆学校運営



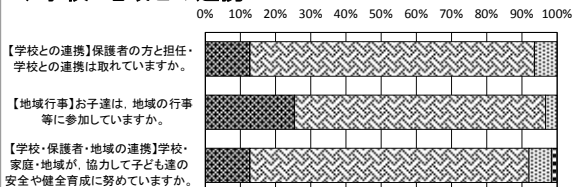
ホームページの更新に限っては各学年からの発信頻度が上がるように強化週間等を取り入れました。その結果、やや向上しました。しかし、総じてはAが減少気味になっています。来年度はさらに評価が上がるように取組を進めるとともにお知らせをしっかりとしていきたいと思います。

◆学習指導



総じては前期とほぼ同様結果となっています。しかし、傾向として二極化してきていると思われる点があります。つまり、ADの両端が増えているということです。これは、学習指導で個別支援が一部の児童に有効でなかったり見過ごされてしまったりしている可能性を考える必要があります。

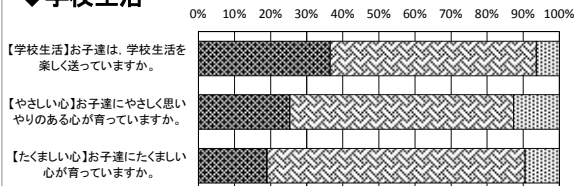
◆学校・地域との連携



総じてはどの項目も肯定的な評価をいただいています。ただ、3つ目の項目のDが前期同様残っています。三者の協力した取組を広報していくことも必要ではないかと感じました。

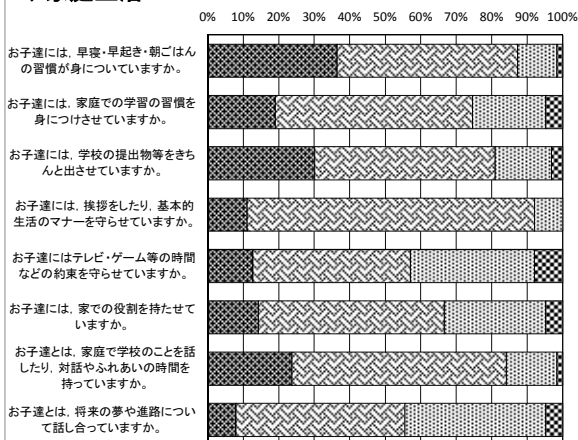
来年度は、この高い評価を維持しつつさらに高みを求めてB回答からA回答に評価が移行していくように取組を進めていきたいと思います。

◆学校生活



総じて肯定的に回答いただいていることは、今までと同様ありがたいと思います。しかし、小さな変化ながらもAが減っています。特にやさしい心はCが倍増となっています。やさしさは、すなおさ・たくましさの上に育つものと考えていますので、教育活動全体の中でさらなる効果的な取組を考えていきたいと思っています。

◆家庭生活



第1項目を除いてやや二極化の傾向が見え出してきています。学習指導への評価との関連を十分に考え、学習と生活の関わりについて学校と家庭との連携を考えさせられる結果でした。

《学校全体に関わるご意見より》

HPなどたくさん学校のことを教えていただけるとありがたいというご意見をいただきました。改善に努めていきたいと思います。

下中交差点の通学は地域と連携しているので、学校より北側の通学についても支援をお願いしたいというご意見をいただきました。検討を要する課題だと考えています。

お弁当の日の設定について、学習発表会当日は親も学校へ行くということで忙しいので、たとえば、学年ごとにある社会見学などにしてはどうですかというご意見をいただきました。各家庭の事情が異なることや登校時刻の差異等もありますので慎重に検討していく必要があります。

ふれあいデーについて、担任のコメント後の返却が遅いことへのご指摘がありました。2月より早速に変更いたしました。

宿題に関してのご意見を数件いただいております。家庭での学習時間確保の問題もありますので、ともに共通理解を図っていくところがあります。

《その他ご意見より》

- ・学習指導に対する思慮・配慮不足へのご意見をいただいております。
- ・担任の目の届かないところでの友達間トラブルのご指摘と周りの子たちへの願いをいただきました。共に真摯に受け止め改善に努めていきたいと思います。

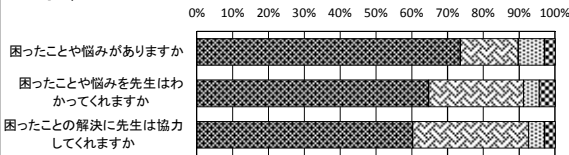
《アイデア》

手をかけ過ぎず、目をかけよう!!

児童アンケートの結果と考察

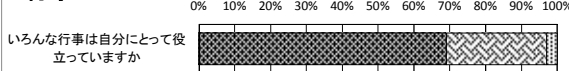
Aよく出来ている
 B出来ている
 Cあまり出来ていない
 D出来ていない

こまりについて



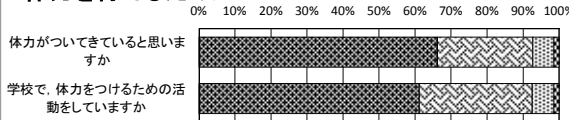
前期と比べて大きな変化はありません。しかし、困りや悩みが解消されているわけではありません。困りや悩みを抱えやすい児童に対して寄り添えるように、また、困りや悩みを生じていないか児童の様子をしっかりと見ていくことを続けて距離を縮めていくことで、解消の方向へ進めていきたいと思います。

行事について



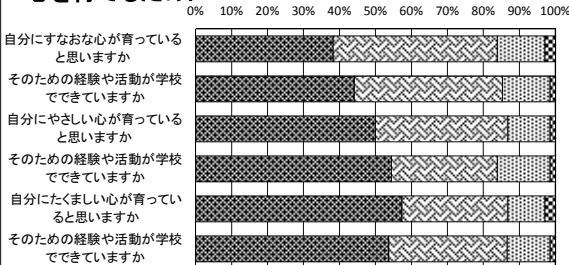
前期に比してADの両端が減っています。前期が運動会という大きな行事の直後に対して後期は大きな行事の合間ということも手伝った結果といえます。総じては変化ない傾向にあります。このことを捉えると、大きな行事が児童の成長を促す一助であることがよく分かります。

体力を育てるために



第1項目がAB共に微増しています。前期に引き続き児童が意識して体力づくりに励んでいることが分かります。ただ、そのための活動量が減ったと感じている傾向があります。冬場の体力づくりの充実感を味わわせる取組を考えたいです。

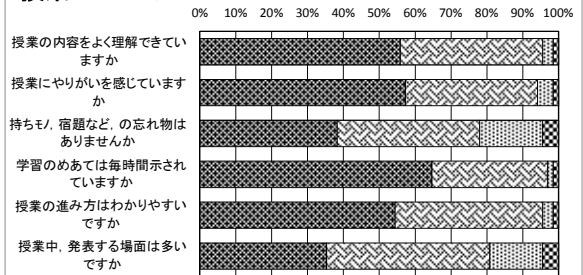
心を育てるために



前期と比べると、最終項目を除いてB児童の減少が主にAへ、一部がCへと移っています。最終項目はBCの減少がAへ移っています。

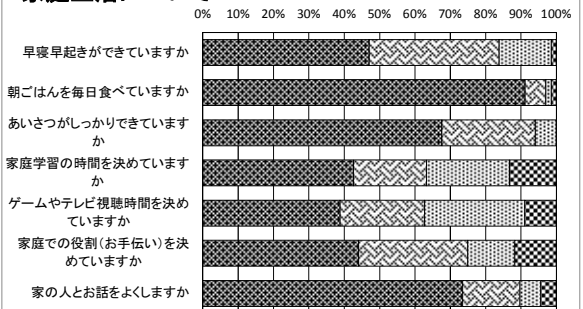
総じては、三つの心が育っている、そのための活動もしていると自覚できているのだと思います。ただ、一部少数がCへ移行したこと、Dの児童がいることをしっかりと受け止め、三つの心が育つように取組を進めていきたいと思います。

授業について



前期に比して肯定的否定的という点では大きく変わりません。しかし、Aを見ていくとやりがい、分かりやすい、発表と児童の能動性についてはランクを下げています。意欲的に学習に関わろうとする児童がいる反面、積極性を欠いてしまってきている児童も増えているということです。分かりやすいだけでなく児童が意欲的に学習に臨み、自信を持てるように授業の工夫をしていきたいと思います。

家庭生活について



早寝早起きが前期に比べて大きく落ち込んでいます。寒さで…、ということもあるのでしょうか。朝ごはんも起床時刻との兼ね合いもあるのでしょうか。二極化傾向を示しました。あいさつと家庭学習はBの減少がACへと移っていますし、ゲーム等はBCに集まる傾向を示しました。お手伝いや家の人との対話はD増加へと傾いています。

今回が寒い冬ということもあったのでしょうか。家の中にいる機会が多く、暇が生じて来ていたのかもしれない。めあてやリズム感を持って家庭生活が遅れるように学校家庭で協力して取組を進めたいと思います。